



日本の  
ひなた  
宮崎県



宮崎県立西部原考古博物館所蔵

勾玉(山)と切子玉(下)【古墳時代後期】  
永山古墳 (永城町)

水晶製の勾玉と切子玉です。ともに片側から穴が開けられおり、成形のために敷(たた)いたあとが全面にみられます。石室の奥壁(おくへき)付近で出土しました。

ふるさとの遺跡

再発見

発掘成果地域還元事業

移動展示会 木城会場

令和5年10月24日(火)  
～12月7日(木)

共主	会場
木城町	木城町立みどりの杜木城学園 メモリアルホールほか
木城町教育委員会	観覧時間 午前9時30分～午後4時30分 休業日 11月11日(土)を除く学校休業日 (土・日・祝日はか)

# 県内各地の出土遺物

宮崎県埋蔵文化財センターは、県内各地で発掘調査を行っており、それらの調査で出土した土器や石器などの遺物、住居跡などの遺構の写真・図面といった遺跡の記録を保管・収蔵しています。

これまで行ってきた調査と研究の成果を地域に還元し、未来への遺産としてつないでいくために、令和5年度は、高原町、木城町、西都市の3か所で移動展示会を開催しています。

木城会場では、木城町および近隣の市町村で出土した遺物を中心に展示を行っています。ぜひ先人たちの営みに触れ、地域の歴史を感じてみてください。



縄文土器 深鉢（縄文時代中期）  
野首築！遺跡（高橋町）  
土器の内外面に楕円形文がみられ、外面にはスガが付着するなど、煮炊きに使用したと推測されます。



縄文土器 深鉢（縄文時代中期）  
下耳切築3遺跡（高橋町）  
土器の外表面にはヘラを使った様々な文様がみられ、赤色の顔料が塗られています。



弥生土器 壺（弥生時代）  
老瀬坂上築3遺跡（高橋町）  
口縁から胴部に対し、底部が急にすばまり小さな柱状の脚がつけます。脚が広わりやすい形で煮炊きに使用したと考えられます。

## ●関連講座 令和5年11月11日 土

### ◆ギャラリートーク（展示解説）

内容／展示解説

時間／①10:00-10:30 ②13:00-13:30

場所／みどりの杜木城学園

### ◆体験講座

内容／石器レプリカ作成・土器復元バスル・拓本体験

時間／①10:00-12:00 ②13:00-15:00

場所／みどりの杜木城学園

※ 事前申込不要・参加料無料

※ 時間内であればいつでも参加できます。

## ●西都会場

会期／令和6年1月27日[土]～3月3日[日]

休館／月曜・祝日

場所／西都市歴史民俗資料館

関連講座／令和6年2月4日[日]



宮崎県立博物館考古学博物館蔵

菅玉（古墳時代前期）

水山古墳（木城町）

濃緑色の碧玉（へきぎょく）製です。いずれも片側から穴が開けられています。石室の奥壁（おくへき）付近から7個まとまって出土しました。



土師器 長頸壺（古墳時代前期）

水山古墳（木城町）

頸（くび）の部分にヘラで磨いた痕が残っています。丁寧に作られており、石室内で見つかりました。



土師器 皿（古代）

宮ノ尾遺跡（西都市）

皿の内面に、放射状・花卉状のヘラミガキ（磨文）がみられ、磨内で作られたものと考えられます。



宮崎県埋蔵文化財センター  
Miyazaki Prefecture Archaeological Center

お問合せ（分類・普及資料課）電話：0985-21-1600

